

第63回三島市美術展 入賞者一覧

平成27年6月21日現在

【日本画の部】

賞	目録No	氏名	題名	
市長賞	16	永井 清勝	“江梨花とチャオ”	F20号
議長賞	18	山田 淳子	菊日和	P30号
教育長賞	22	楠 きよみ	輝く島々	変形20号
実行委員長賞	10	斎藤 正子	里山心象	10号
舜堂賞	8	佐藤 末美	ねむの木	F20号
奨励賞	11	草間 賢子	ナニワイバラ	30号
奨励賞	14	渡辺 千鶴子	オクラ	F30号
奨励賞	21	森坂 久仁子	難波薔薇	F20号
市民選賞	16	永井 清勝	“江梨花とチャオ”	F20号

〔審査員講評〕

全体として日本画の新しい動きを予感させてくれる作品が目立った。技巧的には未熟さを感じるものがあつたが、表現の幅を広げてくれるものがあつた。

一点一点のレベルが高く、優劣をつけがたいぐらいであつたことも表わしておきたい。中でも市長賞の“江梨花とチャオ”は工芸的作品が多い中で、今日性と日常性をテーマに新しい方向をよく追求された。

審査員 松山 英雄、奥田 貞子、岡 和子

【洋画の部】

賞	目録No	氏名	題名	
市長賞	52	佐野 章夫	赤い船	S50号 油彩
議長賞	9	高橋 佳男	白糸の滝	F100号 油彩
教育長賞	16	澤野 史朗	箱根大根	F50号 油彩
実行委員長賞	7	杉山 雅彦	思い出の笑顔	50号 水彩
舜堂賞	19	栗田 隆	倒木-II	77×59cm 木版画
奨励賞	10	小幡 悦朗	昼下がりの街裏	F50号 油彩
奨励賞	22	勝俣 あい子	楠	F20号 油彩
奨励賞	33	金谷 弘子	想い	25号 油彩
奨励賞	44	山下 有美	旱天の慈雨	F80号 油彩
奨励賞	47	三浦 まさえ	御嶽山	F50号 油彩
市民選賞	9	高橋 佳男	白糸の滝	F100号 油彩

〔審査員講評〕

今年の第63回展は出品数も多く、全般的に絵としてまとまっていました。やや物足りなさも同時に受けました。各自の描く形にもっと個性が欲しいような気がします。自分が感じたものを、失敗を恐れず自分の可能性に思いきりぶつかる冒険心がほしいと思います。

自分が創作しようとする作品の中に、いつも新しい感動と発見をすることが絵を描くよろこびです。

来年は、そのような作品が増えることを期待しています。

審査員 萩原 芳男、世古 明子、杉山 重雄

【彫刻・工芸の部】

賞	目録No	氏名	題名	
市長賞	8	風間 裕子	鎌倉彫麻葉模様 どうぐ箱	鎌倉彫
議長賞	13	鈴木 純子	富士讃々	七宝焼
教育長賞	1	池田 マサヨ	富士十二景	布アップリケ
実行委員長賞	15	櫻川 秀紀	線刻象嵌飾皿	陶芸
舜堂賞	18	長澤 武司	鍛金 布目象嵌銅器「彼岸花」	銅鍛金
奨励賞	2	中川 正美	酒卓	木工
奨励賞	3	三ッ石 幸一	私の土偶	陶芸
市民選賞	8	風間 裕子	鎌倉彫麻葉模様 どうぐ箱	鎌倉彫

〔審査員講評〕

全体として彫刻・工芸の作る喜び使う楽しみが表現されています。新しいジャンルの作品や高度な技術を要する作品が増え、新鮮な印象を受けました。

工芸は長い積み重ねの中から生まれて来るものです。

一步一步進めて行く事が大切だと思います。

審査員 近藤 宏克、今野登志夫、山本 進也

【写真の部】

賞	目録No	氏名	題名
市長賞	38	高田 理恵子	Amor
議長賞	40	今井 泰隆	捕食
教育長賞	73	藤原 英修	終宴
実行委員長賞	64	矢田 裕一郎	怒濤鮎壺
舜堂賞	53	佐藤 勝次	草むらの朝
奨励賞	9	望月 正誼	妖花
奨励賞	15	長島 弥	夕暮れ時は楽しそう
奨励賞	28	川野 昌代	かわせみの春
奨励賞	30	荒川 昌彦	タイムトンネル
奨励賞	33	鈴木 由美子	春待つ漁港
奨励賞	36	宮澤 幸代	泡沫の花
奨励賞	62	佐野 良治	極寒の羅臼・流氷と大鷲
市民選賞	40	今井 泰隆	捕食

〔審査員講評〕

審査を担当させて頂きまして感じた事は、モノクロ写真が少ない事です。モノクロ写真は、撮影者の感性、撮影意図がはっきり出ると思っております。

カラー写真が多い中、モノクロ写真があると目に留まることは確かです。三島エリアで撮影された作品が少ないと感じましたが、季節感も有り、時間帯によっては、すばらしく被写体が生き活きと表現できますので、皆様の新しい発見を期待しております。

審査員 大角 勝、中西 敬三、露木 義光

【書道の部】

賞	目録No	氏名	題名
市長賞	9	加藤 里楓	元稹詩
議長賞	5	土屋 玉楓	山河草木
教育長賞	2	森 翠功	長寧公主東莊
実行委員長賞	27	松田 雅子	五月雨
舜堂賞	31	高田 杏華	志賀の浦に
奨励賞	4	久保田 山吹	寄国香
奨励賞	17	杉本 敏翠	任翻詩
奨励賞	25	三浦 文子	百済野の
奨励賞	36	前島 右海	鹿鳴
市民選賞	36	前島 右海	鹿鳴

〔審査員講評〕

昨年よりわずかであるが、出品点数がふえて喜ばしい。平板な作品が多く感じられるので躍動感あふれる作品が欲しいと思う。

会場の制約があるために横作品がみられないのがさみしい。書き込みによる自信を持った作品が多く出ることを希望する。

審査員 鈴木 玉翠、山田 翠峯、増田 花峰